

農業倶楽部通信

平成三〇年十二月号

発行：農業倶楽部
よこて店
H30.11.29 vol.48

営業時間
8:30~17:00
定休日
土日祝日他

今年を振り返る… 水稲

平年よりやや温暖に経過した今春でしたが、5月は強風や雹に見舞われる日もあり、日照が不足がちに。そのため苗はやや徒長気味で、苗立枯病の発生が例年より増加しました。また田植えはほぼ例年通り実施され大雨で活着遅れがいくらか見られたものの、平年並からやや早い初期生育でした。

天候は、6月中旬以降に曇りや雨の日が増加(低温)、7月上中旬には台風等の影響で大雨や日照不足(高温)、下旬から8月中旬は日照が回復し、フェーン現象が発生超高温するなど、稲にとって過酷な状況が続きます。その結果、適期の中干しができず着粒数が減少、水不足や登熟期の超高温(夜温の上昇)によって稲体が激しく体力を消耗しモミへの養分転流がままならず、いもち病の発生等にも繋がってしまいました。

今年大きく減収した反省を踏まえ今後の課題に挙げられるのは、生育中の各重要ポイントを天候に応じて適切に施肥、水管理できるかだと思えます。昨年も取り上げたように担い手不足で手をかけられない圃場も多いと思いますが、土づくりや圃場管理の基本を守りつつ、一歩先を行く作業を心がけたいですね。

今年を振り返る… 野菜

今年は水不足の影響でマルチをしていない露地トマトやナス等がほとんど収穫できずに枯れたり、育てやすいはずの里芋でさえ根上がりや葉枯れ症状で不作になる等、色々な障害が発生しました。

一方、秋野菜の播種時にも高温と雨不足で蒔き直しや植え直しをされた方もいましたが、度重なる台風にも耐え、比較的良好的な生育と収量でした。

思い返すと病害虫よりも生理障害や生育不良の相談が多く、中には土作りがしっかりしていれば防げたケースもあり、今後は土壌改良を軸に正しい状況判断と対策を実施、気候や地域に合った品種を選ぶ取り組みが必要と考えます。

今年を振り返る… 果樹

りんごやおうとうは発芽や開花の時期に好天に恵まれ着果も良好でしたが、ぶどう(特にシャイン)については低温による凍害や過乾燥による枝枯れが深刻で、その他の品種でも生育中の過乾燥による縮果症や未熟果が見られました。

病害虫は、成り過ぎによる摘果や収穫の遅れによるおうとうのアウトウシヨウジョウバエと、りんごのナミハダニや耐性黒星病が発生し問題となりました。

また度重なる台風や強風で各樹種に落果やキズ果の被害が発生。生育が順調だっただけに非常に残念でした。ぶどうも8月に高温が続いたことで着色不良となり(特にスチューベン等黒系品種)、多くのご相談を頂きました。

果樹は生育期間が長く多くの手間や作業がいりますが、良い果実を作る為に必要なのは**適期作業**です。人手不足で遅れがちな作業は可能な限り薬剤散布や着色剤等で補完し、余った人手を他の作業に回すことでより高品質な果実生産も可能と思います。農作業の仕方を今一度見直してみましょう☆

予約注文受付中♪

来年度用農業資材のご予約を受け付けています。肥料農業はもちろんですが、来春値上げが予想される生産資材、ハウス関係の方も早めの「ご用意をお勧めいたします。詳細はスタッフまで！」

◎来年度の当店のおすすめ商品

・あらゆる作物に「千代田化成」

・頼れる水稲除草剤「ゲパード粒剤」

・天候不順に負けない作物を作るために

「トヨクイーン」
「マグポーンナス」

パイプハウスの
「注文は値上げ前の今がおすすすめ♪」



◎年末年始のお休み(予定)

十二月二十九日(土)

一月六日(日)

※東北※ 3ヶ月予報

12月 ≪平年と同様に曇りや雨または雪の日が多い。≫

1~2月 ≪平年と同様に曇りや雪の日が多い。≫

◎夏に猛暑だった年は大雪になるケースが多く、暖冬予想だからと油断は禁物。特に現在発生しているエルニーニョ現象は春まで続く可能性が高く、こつした時は日本海側が大寒波に見舞われる場合が多い。パイプハウスや果樹の雪下ろしは定期的に実施し、被害が出ないように心がけよう！

	30	30	40
気温	30	30	40
降水量	40	30	30
降雪量	40	30	30

■(平年)以下 ■並 ■高い (%)

◎編集者のつづやき...

度重なる台風や猛暑の悪影響が色濃く残った今年。「がっかりだ」とほやいてばかりもいられません！安定生産と言っ観点では、どんな作物でも「気象変動の影響を受けにくい基礎管理と地力の維持・向上」が大事になります。今後更に、異常気象でも生育不良や生理障害が出にくい株作りが求められるので、冬の間に少しでも知識を蓄え、皆さんに対策を伝授していけるよう私も努力を続けて参ります！

来年も何卒宜しくお願い致します

